

学界消息

読史会

昭和四十三年四月例会

四月十三日(土)午後一時 於 京大楽友会館

靖国神社の成立過程について——所謂「国家神道」の二重構造についての前近代史研究からの

問題提起の試み—— 河普 能平

五月例会 五月十一日(土)午後一時

於 京大文学部第八演習室

藤原京発掘の木簡について 岸 俊男

春季大会

六月十六日(日)午前九時

場所 京大文学部第一講義室

国の等級について——宝龜六年三月乙未条をめぐる——

野田 嶺志 門脇 禎二

高野山領荘園の分田支配

熱田 公

十七世紀における堺と周辺農村の関係

朝尾 直弘

〈特集・古代宮都の解明〉

平城・藤原・飛鳥——藤原京京城考定試案——

岸 俊男 山根徳太郎

難波の宮と難波王朝

西洋史読書会

例会 於 京大海洋史研究室

昭和四十三年一月二〇日(土)

ビザンツにおける皇帝権力と貴族制

一月二七日(土)

プロイセン史像にかんする若干の研究紹介

末川 清

第一五回春季大会

四月二九日(祝) 於 京大楽友会館

セレウコス朝の支配と異民族

——アンティオコス三世の時代の場合——

大戸 千六 古林 清一

マムルーク朝の商業政策

ラーテナウとラバロ政策 八田 生雄

シンポジウム「比較史の諸問題」

比較史的にみた都市成立論 瀬原 義生

二つの帝国憲法体制——ドイツと日本——

皇田 幸男

歴史研究における比較方法について

前川貞次郎

シンポジウム

五月一日(土)

読書会春季大会反省会

五月二五日(土)

第一九回日本西洋史学会反省会

六月八日(土)

キリスト教とローマ帝国の最初の出合い

井上 智勇

六月二日(土)

英国の世界貿易・植民運動着手とジェントリ

の役割 浅田 実

六月二九日(土)

ヴァイマル精神史の一面

八田 生雄

人文地理学会

第七十五回例会

昭和四十三年二月十日(土)午後二時より

於 同志社大学

インド農村の都市化——グジャラート州パロ

ーダ周辺の場合 山本 剛郎

古代辺境村落の一類型——「方八丁」について—— 木下 良

歴史地理部会

第二十一回

昭和四十三年二月三日(土)午後二時より

於 京大楽友会館

畿内における郷と藩政村について——山澄元

氏の報告を中心として——

応用地理部会

第九回

昭和四十三年一月二七日(土)午後二時より

於 立命館大学

応用地理における課題と二・三の研究事例に

ついて討論——通信と応用地理学

稲永 幸男

歴史地理部会

第二十二回

昭和四十三年四月二七日(土)午後二時より

於 京大文学部

萩藩の人口について——一最芳秋氏の報告を

中心として——

地理学史部会

第三回

昭和四十三年五月十一日(土) 午後二時三十分より

於 適塾(旧緒方洪庵塾)

桂川甫周の世界図について

海野 一隆

歴史地理部会

第二十三回

昭和四十三年七月六日(土) 午後二時三十分より

於 京都大学薬友会館

東寺領丹波国大山荘の土地開発について(山

間盆地の地形と条里を中心として)——上

田洋行氏の報告を中心として——

第七十七回例会

昭和四十三年六月八日(土)、九日(日)

於 静岡 中央公民館

CBDの設定について

成田 孝三

イラン農村構造の人文地理学的研究

明治初期府県合併の政治地理

大野 盛雄

佐々木清治

日本地理学会

一九六八年度総会 (於 法政大学)

四月六日(土) 九時三十分~十四時四十分 研究

発表 十五時~十七時 一九六八年度総会

四月七日(日) 九時三十分~十七時 研究発表

十七時三十分~十九時三十分 懇親会

研究発表題目

アラスカと欧州の氷河と氷河遺跡を訪ねて

守屋 喜久

La Paz (Bolivia) 周辺の氷河地形とその編

年 野上 道男

木曾・赤石両山脈における中位置氷蝕作用

有井 琢磨

きた北海道・ひがし北海道の水蝕作用

有井 琢磨・白坂蕃・宮地忠明

中山郁子・渡辺晋

北海道北東部の化石周氷河現象 小嶋 尚

Glacial entasy は俗説——第一報——

附 霜に関する吉川虎雄の俗説 今村 学郎

キャップ・ロック・スライドとその特性

中村 三郎

豪雨に伴って多摩丘陵におきた斜面崩壊

井口正男・松本栄次・石井孝行

琵琶湖南平野の構造およびその発達過程につ

いて 宇野沢 昭

中九州における新期断層地形の分布およびそ

の特徵の解明 有井 琢磨

三重県、朝明川・三滝川・内部川の河床縦断

形について 池田 宏

相模川沖積低地の沖積層の構造 森山 昭雄

京都盆地西部の微地形と表層地質 内藤 博夫

秋田県花輪盆地と大館盆地の盆地堆積物と地

形発達史 内藤 博夫

山口県防府市付近の地形

羽田野誠一・野呂勝義

河北潟周辺の地形 上西 時彦

始良カルデラ北方のシラス台地の地形

横山 勝三

伯耆大山の地形

日野 辰郎

三瓶火山の活動史と地形

鈴木隆介・横山勝三・高橋健一

男体山の嶽(崩壊谷)の地形学的研究

石井 孝行

三浦半島荒崎海岸における岩盤温度測定結果

高橋健一・福岡義隆・砂村継夫・鈴木隆介

三浦半島荒崎海岸の波蝕棚の微地形と構成岩

石の力学的性質

鈴木隆介・寺田稔・砂村継夫・高橋健一

有明海北岸低地とその地盤沈下 武久 義彦

東京低地東南部の埋没地形と最近の地盤沈下

中野尊正・門村浩・松田啓余

フィリッピン海の深海底断層について

茂木 昭夫

相模川下流左岸の沖積低地における不圧地下

水のあり方について 渡辺 哲男

水田帯における浅層地下水に関する研究(Ⅲ)

福田 清

縦断面形からみた扇状地の地下水と地形との

関係 岩下 茂子

那須野ヶ原の地下水位変動について

塚田 公彦

武蔵野台地の自由地下水について

細野 義純

中性子水分計による土壌水分の測定

平田 重夫

東アフリカの赤道偏西風とその気候におよぼす影響について
中村 和郎

太平洋地域の気候に及ぼすブロッキング現象の影響——第一報——
土屋 巖

大陸東岸と西岸における上層大気環流の比較気候学的考察——第二報——
小林 望

気圧の日々変化と季節の推移
矢沢 大二

冬の河川流量の気候・水文学的検討(予察的研究)
新井 正

多摩丘陵大栗川流域の地下水について
石川与吉・高山茂美・高村弘毅・関根清

首都圏における主要河川の濁水流出と降水との関係
原昭宏・小林徹・平田重夫・市川正巳

丘陵地の小流域における降雨と流出に関する研究——特に初期損失および古藤田一雄

神通川下流の水質汚濁について
山本荘毅・市川正巳・原昭宏

神通川下流域の貴金属による汚染地域
塚田公彦・渡辺哲男

窪地内の夜間気温変化の解析
岩崎 尚

関東地方の地形性降雨帯
谷治 正孝

降雨時の熱収支および冷却項の気候学的考察
福岡 義隆

大気汚染による日射量の減少について
山下 脩二

わが国の大都市における最近の都市気温
河村 武

最近の日本各地における気温上昇
福井英一郎

東アジアにおける冬の気温と降水量の経年変化について
水越 允治

沿岸地域の気候変動
吉村 稔

静岡県西部の小都市を中心とするバス交通の変化——輸送の方式と地域との関連——
長沢 秀祐

東濃地方における局地鉄道の発達とその機能
青木 栄一

中伊豆における温泉観光地の発達——修善寺・伊豆長岡の場合——
山村 順次

新聞産業の地域的展開——明治前半期における福島県の場合——
原田 栄

明治期における社会開発の地域的展開——医師の分布とその年次的変動を中心として——
黒崎 千晴

江戸時代の村絵図製法に関する考察
木村東一郎

地形分類図「高知」で日仏両国式の比較
細井 将右

我が国の地籍調査の問題点——西欧諸国と比較して
大久保武彦

大阪大都市圏に関する共同調査報告——堺市域のばあい——
織田武雄・水津一朗・末尾至行

島田正彦・山澄 元・高橋 正

塚田秀雄・成田孝三・小林健太郎

石原 潤・武藤 直・須原美土雄

野沢秀樹・青木伸好・寺阪昭信
丸本康子

宅地造成にみられる地形の地域差
佐藤 俊雄

東京「山の手台地」上における住宅団地の分類について
今朝洞重美

都市の危険率——第三報——
今村 学郎

新潟市——震災復興期の諸問題と都市機能に
関連して——
渡辺 一夫

都市化と北摂3市の昭和四二年七月豪雨災害
稲見悦治・前田昇・白井哲之

西関東における人口集積と都市化地域の研究
岸本 実

東京大都市圏における周辺都市の性格
山鹿 誠次

青森県三本木原の開発と最近における土地利用の変化——開田について——
大石 壺山

わが国における高冷開拓地の動向とその基礎
坂下 利克

ブラジル北東部の半乾燥地域における特徴的な土地利用の様式
山本 正三

山城盆地南部における内水災害
日下 雅義

羽越水害における集落の被災型態
磯部 利貞

奄美群島における漁村の地理学的研究
斎藤 毅

——第一報——
南西諸島の島嶼間の連繫について——沖繩島を中心として——
中山 満

中華人民共和国における行政市の意義
Die Zwischenstufen——第六報——
今村 学郎

製炭の衰退・消滅——東京都下三多摩の場

合—— 箱宿 光一

庄内地域における農村人口の変動 佐々木 博

秋田・山形両県における出稼労働 市川 健夫

わが国最近の農村変貌の事例——いわゆる過 渡辺 操

疎問題の分析—— 松村 祝男

藤枝市西方の蜜柑栽培 松井 貞雄

伊豆川津谷における花卉園芸 井阪 篤子

養殖真珠について——核の場合—— 田嶋 久

工場用地造成と漁業補償問題——広島県福山 重見 之雄

市の場合—— 横田 忠夫

ペルーにおける魚粉加工業の展開 丸井 博

地方小都市の工業とその労働力の構成につい 水谷隆・山田邦彦

て 竹内 淳彦

鉱山の労働構造——秋田県の諸鉱山の場合—— 北林 吉弘

石炭不況と炭鉱会社の多角化——常盤炭田を 齋藤 実則

例として—— 丸井 博

青梅機業の歴史的変遷 水谷隆・山田邦彦

電気機械器具工業の地域構造 竹内 淳彦

本邦における電炉工場の分布と移動 北林 吉弘

珪岩製旧石器の諸問題 芹沢 長介

鹿兒島県出水市上場遺跡の第二次調査 池水 寛治

縄文貝塚人漁撈生態学と集落の安定性(予報) 赤沢威・渡辺仁

多摩ニュータウンNo.46遺跡における縄文中期 小林 達雄

の(吹上パターン) 渡辺 直徑

灰像による穀類の検出について 吉岡康暢・橋本澄夫

南加賀におけるいわゆる周溝墓制の新例 網干 善教

岐阜県南濃町円満寺山古墳の調査 柳田 徹司

鴻巣市原馬室墳輪築址概要 永峯 光一

長野県島羽山洞穴における古墳時代葬制につい 梅宮 茂

て 小野力・志間泰治

東北地方南部における装飾古墳の一考察 伊藤 文三

——泉崎・清戸迫横穴壁画の解明を中心と 伊達 宗泰

して—— 佐藤 興治

装飾土器を出した宮城県岩沼町所在の長谷寺 藤原宮跡42年度調査について

横穴古墳調査報告 末期古墳出土銚帯金具の年代

平城宮宮域に関する発掘調査 四日市市智積庵寺の発掘調査

藤井功・石井則孝・小玉道明

昭和42年度、多賀城廃寺の調査 伊東信雄・工藤雅樹・桑原滋郎

香川県陶邑古窯址群 松本 豊胤

秋田県南秋田郡五城目町石崎遺跡の調査第一 報——推定秋田郡衙址——

加藤孝・門間光夫

宮城県白石市深谷・道内原及び荒井の製鉄遺 跡 和島誠一・加藤孝

愛知県西加茂郡藤岡村五釜古窯址の調査 久永春男・斎藤嘉彦

板碑の主尊別文量統計 千々和 実

滋賀県信楽町中井出古窯址群の調査 檜崎 彰一

サムロン・セン貝塚と青銅器文化との関連に ついて 近森 正

日本考古学協会 第三四回総会
昭和四三年四月二八日—三〇日
於 明治大学
研究発表